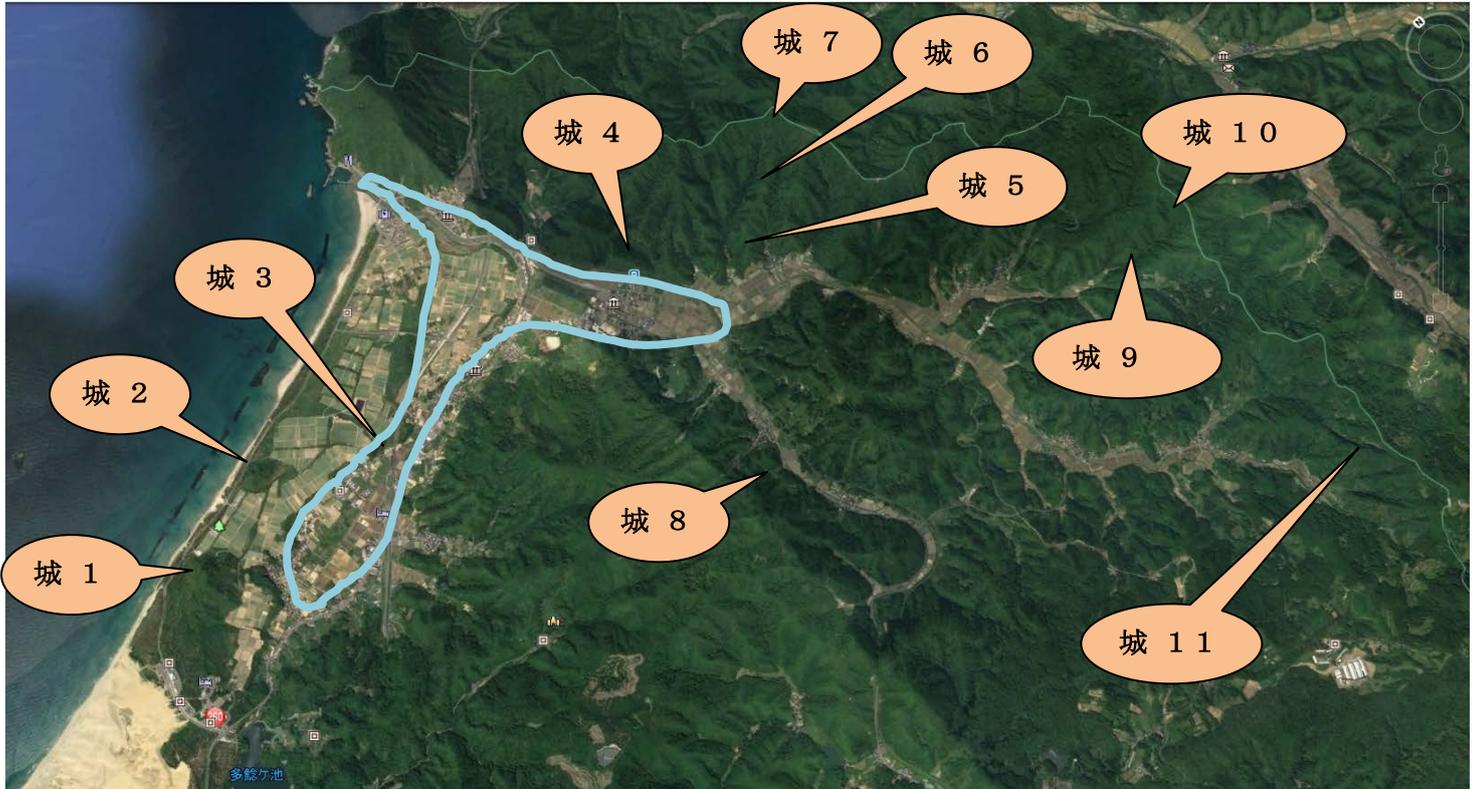


福部の中世城郭 (砦)

縄文時代 弥生時代 古墳時代 飛鳥時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代 江戸時代 明治時代 大正・明治・昭和時代

城郭跡・砦跡



福部の中世【鎌倉時代（戦国時代も含む）・室町時代】は、内陸に湯山池と細川池が広がる水系を持つ交易の盛んな地域であったと思われる。

特に栗谷地区には古代の遺跡・古墳・城郭の分布密度が高いことから考えても、ふくべの中世の中心的地域であったと思われる。

福部の中世城郭 因幡誌に記述						
記号	城の名前	築城年	築城者・城主	城の形態	標高	築城の目的
城-1	二ツ山城 (小松山城)	大正年間 (1573年~ 1592年)	しのべすおうかみ 篠部周防守 (但馬篠部氏)	平山城	110m	二ツ山・一ツ山とも日本海と当時の街道(但馬街道)を眼下に見下ろせる場所にあり、外洋を航行する船や街道を行き来する人の監視と伝達用として築城されたものと思われる。
城-2	一ツ山城 (弧山城)			平山城	61m	
城-3	しらじやま 白地山城 (緑山城)	中世	不明	平山城	25m	湯山池と細川池の入り江の内陸水系の拠点で監視のための城であったと思われる。

城一 4	坂谷城	中世	不明	平山城	78m	細川池の入り江の内陸水系の拠点で監視のための城であったと思われる。
城一 5	栗谷城	中世	不明	平山城	129m	坂谷城と同じように細川池の入り江の内陸水系の拠点で監視のための城であったと思われる。
城一 6	栗谷城背後の城	中世	不明	山城	235m	栗谷城の防護上の城だと思われる。
城一 7	立山山頂の城	中世	不明	山城	393m	籠城用の砦の性格を持つ城ではと思われる。
城一 8	<small>じゅやま</small> 蛇山城	中世	不明	平山城	100m	山全体が岩盤で形成され福部の城郭の中でも要害堅固な点では指折りな城。
城一 9	蔵見の城	中世	不明	山城	250m	岩美町の岩常集落と蔵見地区を超える2本の山道の合流点で、その昔栗谷地区で内陸水系で運ばれた荷役の搬入に利用された山道で監視のための城だと思われる。
城一 10	大旗山城	中世	不明	山城	345m	岩美町の岩常集落と蔵見地区を超える山道で、その昔栗谷岩常集落内陸水系で運ばれた荷役の搬入に利用された山道で監視のための城だと思われる。
城一 11	<small>たきやま</small> 瀧山城 (谷城)	中世	不明	山城	227m	福部全域や久松山などまで見渡せる場所で監視のための城と思われる。

